

みずほCustomer Desk Report 2020/08/11 号 (As of 2020/08/10)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.86	1.1783	124.72	1.3061	0.7157
SYD-NY High	106.20	1.1801	124.78	1.3103	0.7184
SYD-NY Low	105.72	1.1736	124.36	1.3020	0.7141
NY 5:00 PM	105.97	1.1737	124.42	1.3073	0.7150

NY DOW	27,791.44	357.96	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,968.36	▲ 42.63	日本10年債	-	-
S&P	3,360.47	9.19	米国2年債	0.130	0.20bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.237	0.79bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.580	1.48bp
シゴ日経先物	22,515.00	65.00	独10年債	-0.5260	▲1.85bp
ロンドンFT	6,050.59	18.41	英10年債	0.1285	▲0.90bp
DAX	12,687.53	12.65	豪10年債	0.8710	4.20bp
ハンセン指数	24,377.43	▲ 154.19	USDJPY 1M Vol	6.34	▲0.30%
上海総合	3,379.25	25.22	USDJPY 3M Vol	7.95	▲0.17%
NY金	2,039.70	11.70	USDJPY 6M Vol	7.58	▲0.15%
WTI	41.94	0.72	USDJPY 1M 25RR	-0.96	Yen Call Over
CRB指数	147.58	0.73	EURJPY 3M Vol	7.96	▲0.27%
ドルインデックス	93.58	0.15	EURJPY 6M Vol	8.10	▲0.18%

アジア	アジア時間のドル円は105.86レベルでオープン。東京やシンガポール市場休場に伴う薄商いに加え、前週末に米雇用統計を通過したこともあり新規材料に乏しく、ドル円は105.80を挟んだ極めて狭いレンジでの推移。結局、アジア時間は13銭の狭い値幅となり、105.78レベルで海外時間に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.78レベルでオープン、薄商いで動意に乏しい値動き。朝方はドル買いが優勢となり、一時106.20まで上値を伸ばした。その後106.14レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3067レベルでオープンし、米ドルに振り回される値動き。1.3020—1.3088の狭いレンジで売り買いが交錯し、1.3035レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルーパー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、東京市場が祝日で休場となる中、105.80近辺での小動きでスタート。欧州時間は対ユーロのドルの買い戻しが優勢となる。早朝に中国が米議員ら11人に制裁を科すと伝わり、米中関係悪化を懸念したリスクオフのドル買いが強まり、106.20まで上昇し、106.14レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表が予定されておらず、米金利の低下を手掛かりに105.72までじりじりと下落。しかし、米国のコロナウイルス問題追加経済対策や米中対立の行方を見極めたい雰囲気も強いほか、米金利が持ち直したことから、この水準で下げ止まる。午後は新規売りばかり材料が乏しく、米金利の上昇と米株が上げ幅を拡大する動きを横目106.10円はじりじりと上昇。しかし、106円台回復には至らず、結局、105.97レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.1800手前での小動きでスタート。1.1801まで上昇する場面もあったが、欧州時間に入るとドルの買い戻しが強まり、1.17台半ばまで反落。早朝に1.1741まで下落し、1.1754レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下傾向が重しとなり、早朝のドル買いが一巡。ポンドなどとの欧州通貨とともにユーロも買い戻され、1.1792まで上昇。しかし、1.18台には届かず、朝方の上昇分をすべて吐き出す。午後は米金利の上昇を受けて、ドル買い優勢の展開。終盤に安値1.1736をつけ、結局、1.1737レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前経緯無しに変更される場合があります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はすべて弊社に帰属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報や無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：尾身・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月7日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 8.9%	8.2%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 1763k	1480k
	21:30	米 失業率	7月 10.2%	10.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.2%/4.8%	-0.5%/4.2%
8月10日	10:30	中 PPI(前年比)	7月 -2.4%	-2.5%
	10:30	中 GDP(前年比)	7月 2.7%	2.6%

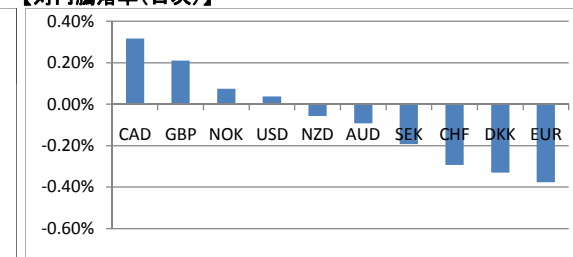
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
8月11日	18:00	独 ZEWS景気調査(期待/現状)	8月	55.8/-69.5	59.3/-80.9
	18:00	欧 ZEWS景気期待指数	8月	-	59.6
	21:30	米 PPI (前月比/前年比)	7月	0.3%/-0.7%	-0.2%/-0.8%
8月12日	00:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-
	01:00	アメリカ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ドル/円相場について】

週末のドル円は106円近辺で堅調推移となった。金曜日に発表された米雇用統計の結果が予想比良好な結果となり、ドル買いが優勢となった。また、米追加財政支援協議がまとまらなかった為、週末にトランプ大統領は失業給付の増額など大統領令を発動したことも好感された。

本日もドル円は堅調な推移が継続すると予想している。但し、米財政支援協議の難航や米中関係の悪化などリスクを抱えている為、ドル円の上値も限定的となるだろう。また、今朝ほどトランプ大統領演説中にホワイトハウスの外で発砲事件があったことが伝わっているが、大統領に大事はなく相場への影響は限定的だった。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	フル	フル	フル	ペア	ペア	フル	ペア	ペア	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	淺見	木村		ブル	ペア
フル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア		6	14